



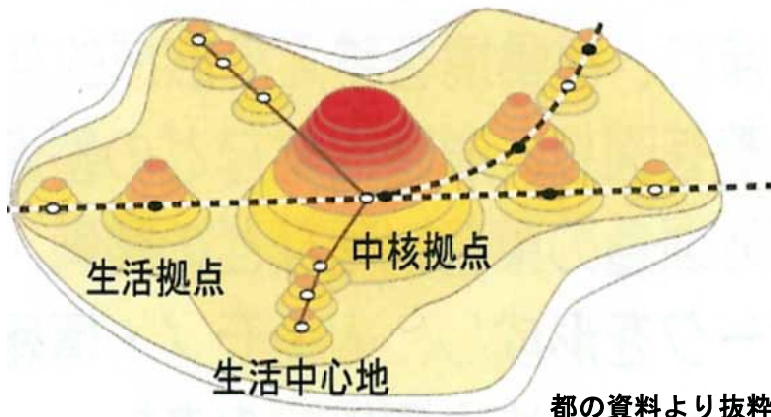
お元気ですか！
志村 たかよし です

第718号 2014年11月16日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

「住民の利益よりも大企業優先のまちづくり」の 東京都マスタープランを批判



10月31日、中央区都市計画審議会が開催され、都が改定した「都市区域マスタープラン」について審議しました。

私は、7月に国交省が発表した「グランドデザイン2050」とあわせて「マスタープラン」を検証し、それぞれの問題点を指摘しました。

その一つが、中央区などの都心を「センター・コア再生ゾーン」

と呼んで、土地の高度利用を求めていることです。

マスタープランには「都心は、国際ビジネスセンター機能にふさわしい高密度、おおむね700〜1300%の容積率とする」と記載されており、左図のように「拡散型から集約型の地域構造へ再編」として東京の中核拠点に都市機能を今よりもっと集約しようというのです。

上の図は、10月31日の中央区都市計画審議会で説明があった将来の東京のまちづくりのイメージ図です。

「人口減少・少子高齢化社会の到来」に対応するまちづくりとして「拡散型から集約型の地域構造へ再編」するとして「交通結節点などに生活拠点などの形成を促進」させ、都心などの中核拠点では、「更なる国際競争力を備えた魅力ある都市へと再生していく」としています。

中央区は「中核拠点」に位置します。区民が快適に生活できるためのまちづくりでなく「企業のためのまちづくり」がさらに進められようとしているのです。

住民軽視・東京一極集中をさらに加速させるマスタープラン

「東京一極集中からの脱却」と言いながら、実際は「東京一極集中」をさらに進めるまちづくりをしています。

私は富山市などの失敗の例をあげながら「コンパクト＋ネットワーク」や「都市機能集約」「行政サービス集約」は住民の利益と便宜に供しないことを説明し、「マスタープランは、住民の利益よりも大企業、デベロッパー、不動産投資家の利益を生み出すためのまちづくりをすすめるものなので認められません」と承認に反対しました。

広瀬盛行委員（明星大学名誉教授）は「志村委員の指摘は分かる。東京一極集中の解決は長年の課題で簡単に片付けられない。グランドデザインは今後見直すといけない」と発言しましたが、他の委員からの発言はなく、反対は私だけでした。

企業のために規制緩和を進める一方で住民の意向が反映できない都市計画は見直すべきです。

土壌汚染の深刻な豊洲移転計画の中止求め

第5回「築地でええじゃないか！」パレード



吉良よし子参院議員も参加したパレード=10/25

秋晴れの10月25日、築地市場の豊洲への移転計画の中止を求め、築地市場から外堀通りへ、銀座から八重洲へ、約2kmの「築地でええじゃないか！」パレードが行われ、消費者団体、婦人団体、市民、労働組合など約250人が参加しました。

元気なドラム隊も参加し、「築地でええじゃないか!」「守ろう! 築地」「豊洲着工に異議あり!」「汚染地への移転イカン」「移転反対・流通守れ」

「築地移転反対・食守れ」「みんな、築地に市場を建て直そう!」とにぎやかに沿道の通行人にアピールしました。

汚染対策費は当初の568億円から762億円へ増加しています。総整備費は4500億円以上が見込まれ、とどまるところを知らない膨大なムダづかいをしている「移転」計画です。

「いまなら引き返せる」。この声を粘り強く広げ、「移転」を断念させましょう。

明正小学校 新校舎で運動会



広くなった校庭でのびのびと=9/27

今年も盛大に 健康福祉まつり2014

10月26日、あかつき公園を中心にして毎年恒例となった「健康福祉まつり」と「消費生活展」が開催され、たくさんの人で賑わいました。

福祉ボランティアのみならず、日頃の活動を活かしたテントをはり、ふれあい食堂では町会の方たちが、威勢のよい声を響かせながら美味しい食べ物を提供し、会場を盛り上げていました。今年も子ども連れのファミリーが目立ちました。



食事しながら野外ステージが楽しめます。



浜焼きであがる煙が楽しいまつりを演出。



野菜、米、パン、衣類…欲しいものばかり